

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
常滑市	矢田地区(矢田区)	令和3年3月31日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	233.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	117.7ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	24.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	18.8ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	9.7ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<p>○農地に関すること 土地改良事業を実施していない場所は形状が悪く受け手がいない。また、土地改良事業を実施した場所でも、数筆の所有地で耕作している者が多かったり、地主の意向が強いことが、農地の集積・集約化の妨げになっている。</p> <p>○人に関すること 農業者の高齢化が進んでおり、今後新たな担い手の確保が必要。</p>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>今後の矢田区の農地利用について水田は11中心経営体、畑は5中心経営体が担う。また、中心経営体の高齢化が進んでいるため、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。</p>
<p>集積・集約化の方法については、あいち知多農業協同組合が長年に渡って計画的に集積・集約化を進めてきており、引き続きあいち知多農業協同組合を中心に地元や行政が連携しながら推進する。</p>

(参考) 中心経営体

属性		中心経営体数	経営面積	
			現状	今後の農地の引受意向
認定農業者	個人	15	38.4 ha	44.8 ha
	法人	14	12.0 ha	15.3 ha
基本構想到達者	個人	9	2.4 ha	2.4 ha
	法人	1	0.5 ha	0.5 ha
その他	個人	0	0 ha	0 ha
	法人	0	0 ha	0 ha
計		39	53.3 ha	63.0 ha

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け又は売渡の意向が確認された農地は、143筆163,196㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用するため、高齢化等により農業をリタイヤする農業者の情報を収集し、出し手と担い手のマッチングを積極的に行う。

新規・特産化作物の導入方針

アグリズ常滑営農支援機構において推奨される品目の栽培を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
矢田区	98,601	0	83,174